

十月十三日

四時起床。あつい味噌汁と朝食をとり、予定通り四時五十七分の京王線始発電車に乗る。満員ではないが随分沢山の人が車内には居る。庶民は頑張っているな。東上線川越駅にて河野君と待ち合わせ、軽井沢へ。建築の位置決めと樹木の伐採の指示。茅野より若い木コリ達（今風に言えば林業者）が来て作業する。この人達の顔付が余りにも我々都市の住民と異なるのに驚いた。山の樹木を相手の仕事はこんなにも人相を変えてしまうのかと思った。「室内」に業界人相図書いてみようか。十五時過まで幸脇さんも現場に来て、赤松の枝振りを切る指示などされて楽しそうであった。樹を相手だと皆、専門家、非専門家の区別無く物を言うのが面白い。十六時過、近くの生コン屋で聞いて、浅間産の石屋を訪ねる。幸運にも、良い石屋を見つけた。初めて石積み道に挑戦する事になるかも知れない。軽井沢を過ぎ松井田より高速道に乗り十八時半頃川越。まだ河野鉄骨の工場を見た事が無かった。帰りがけに工場に寄る。社長であるお父さん、気さくなお母さんに会う。ビールをこちそうになり、二〇時頃失礼する。川越、池袋経由二十三時頃世田谷村に戻る。

十月十四日

七時起床。昨日、一昨日と良く体を動かして疲れた。九時烏山より喜多見へ。高山邸定例。住宅の現場は本当に大変だ。標準化

をしなくなる気持ちは良く解る。十二時迄。十三時過大学。久しぶりに教室会議に出席。色んな事が動いているようだが、全体としては良い方向に行っているとは思えない。十五時半、来客あり。時々、変な人が来るな。用心しなくては。十七時過東京ガス、オゾン6Fで日本フィンランド・デザイン協会の島崎さん、村井さんと会う。十八時半、三階のスウェーデンのデザイナーの展示会のオープニングをのぞき、若宮オゾン館長にも再会。すぐに去る。二〇時頃世田谷村に戻る。食事をしてすぐ眠る。

十月十五日

七時起床。十一時四〇分室内原稿修了。自分でも少し考えている事がゆっくりやり始めているのを知る。

十四時研究室。十五時三年設計製図。十八時迄。十九時研究室発つ。二〇時過世田谷村に戻る。考えている事と身体はまだ同調していない。急ぐ事もないが、しっかり身体を整えたい。